

● 今月のお題

「感じ取る」  
子供からのサイン

倫理研究所生涯局講師

雨宮とよ子

新世から

親に認めてもらえない寂しさ

爪を噛んだり、おねしょをしたり、学校に行きしぶるなど、子供の日常に現れる問題はさまざまです。親は戸惑い、その現象を解決しようと思いますが、良くなる気配もなく、不安が募ります。

まず、子供に現れた現象サインの奥にある気持ちに気付いてあげることが大切です。気づきのコツは、子供の立場に立つこと。共感して受け入れて、気持ちに添うこと。

例えば、おねしょが治らないという場合、おねしょをした本人が一番切なく思っていることを、親としてどれだけ感じ取ってあげていたでしょうか。朝、子供がしょんぼり起きてきたとき、お母さんにどんな言葉で受け止めてほしかったのでしょうか。叱られて、一日中おねしょを意識させられてたに違いありません。今日からはぜひ、「辛かったわね。失敗することだってあるわ。安心してお休み」と言ってお慰めあげたいですね。

「子供は親の鏡」といいます。親の心の持ち方や、夫婦としての暮らしぶりが、子供の姿に映し出されているのです。問題を抱えたときは、「親は何を教えられているのか」と捉えることがポイントです。「水も漏らさぬ仲」という言葉があるように、まず、夫婦の心が一致しているか、不足をためていないか、夫婦生活を大切にしているかなどを反省し、「変わる」決意をすることです。親が真剣に変わる努力をしたとき、どんな喜びの結果が待っているか、やってみることをお勧めします。

子供からのサインの根底には、親から認めてもらえない寂しさがあります。弟妹が生まれたとき、また、入園、入学で環境や人間関係が変わったときは、子供の気持ちは不安定になるので、特にしっかりと受け止めてあげたいですね。

仕事を持つ忙しいお母さんでも、子供が親に求めている「今・ここで」というチャンスを逃さず、ぎゅっと抱きしめる。食事の時は、どんな話も喜んで聴くなど、共感・共有する受け止め方を工夫したいものです。たとえ、時間は短くても、質の高い受け止め方をしてみてください。

親心を知ること理解が生まれる

子供が問題を抱えた時は、自分が育った中でとの関係性を見つめることも大切です。

私たちは「いのち」のつながりの中で生かされています。子供の問題は、このつながりと無関係に勝手に起きたりはしないのです。

例えば子供が学校で仲間はずれにされている悩みは、お母さん自身が父親の酒癖を嫌い、拒否している姿が子供に反映しているのだと気付くこともあります。子供が仲間と遊べないでいる寂しさこそ、父親の寂しさそのものだったりします。

このように、父母との関係性を見つめ直すことで、親心を知り、自己の問題に気付く、他者子供を理解することにつながっていきます。子供からのサインは、総じて「よりよく生きなさい」という親先祖からのメッセージなんです。世代は変わっても根はひとつながり。現代の子育てを考えるポイントでもあります。

someya通信編集担当の加園が飼っている「手のないやんこ」の頑張っている話です。

7話  
手のない猫「べる」♂

最近「べる」は気に入らない事があると、粗相をするときがあります。外に出たいのにじいちゃんやママが動いてくれない。さらに顔を見て鳴いても「待ってる」と一喝。かわいそうだからと最初甘やかして育てたため、王子様状態の「べる」には我慢できません。そうすると、トットツといつもの倍の速度で移動し、してはいけない場所までこっちを見ながら「シャー」ーそれも膀胱炎が治り、おしっこをいっぱい溜めておけるので量が多い(涙)「こらー」と怒りに行くと、「べる」は早く逃げたいのにおしっこが多くて止まりません(笑)耳を後ろに倒して「どうしよう」とオロオロしています。でもまだまだ止まりません(笑)

猫のしつけは、基本的にばあちゃんや怒らないタイプ。私はその場で叱るタイプです。私も実家で小学生の頃から猫を飼っていたので、本人猫の為に「ダメなものダメ」と教えずにはと接してしまいました。今回の粗相に私は、おしっこの臭いを嗅がせて、目を見て、「ダメでしょ」とピンと一叩き。「べる」もめったに怒られたことがないので、また耳を倒して、首をすくめ、腰を引き、小さく小さくなっています。そこで終われば信念を買ったのに、そこはやっぱり親バカ(笑)つい、かわいそうで、「ごめんね」と言いながら抱っこしてしまいました。「べる」の場合、手がないので胸とお尻を手で支えて抱っこします。すると右手に「バクバク」という音と振動が伝わってきます。「何これ？」と見ると、そこは「べる」の心臓。初めて叩かれてびっくりしたのか怖かったのか、心臓が「バクバク」と早い鼓動をしていたのです。そんな小心者の「べる」もまたカワイイと思ってしまう飼い主です。 つづく

大人(笑)のミニボ「べる」は小さい心臓(笑)を写真で撮ると、ほんとに可愛らしい場所(笑)が写ります。おねしょ(笑)の場所(笑)が写ります。おねしょ(笑)の場所(笑)が写ります。



someyaグループは、チーム・マイナス6%に協力するため、家づくりに「外断熱」を採用している

「家」の中からできる温暖化対策 / 「うちエコ!」推進中



「うちエコ!」とは 地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」では、この冬、「ウォーム ビズ」の取組を「オフィス」から「家」の中にまで広げ、また、暮らしの中に環境技術が活かされた製品や住宅設備を取り入れるなど、衣食住を通じて「家」の中からできる温暖化対策「うちエコ!」を推進しています。

みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%